

ニューヨーク：国連専門家、スポーツにおける女性と少女の平等と強固な保護を呼びかける

2024/10/08

国連人権高等弁務官事務所

ニューヨーク発 - スポーツにおける女性と少女に対する暴力は、あらゆるレベルで早急な対応が求められる深刻かつ組織的な人権問題であると、女性と少女に対する暴力およびその原因と結果に関する特別報告者のリーム・アルサレムは本日、第79回国連総会で述べた。アルサレムは、総会に提出したレポートで、男性優位の文化、指導的役割に就く女性の少なさ、女性によるスポーツへの不平等な投資など、スポーツにおける女性と少女に対する暴力の構造的な原因について詳しく説明している。これらの課題は、性別、ジェンダー、年齢、人種、宗教、障害など、さまざまな形態の差別が重なることで悪化する。また、女性と少女が男性や少年と平等にスポーツに参加することを妨げる固定観念、性差別、ロールモデルの不在など制度上の障壁についても詳述している。特別報告者は、スポーツにおける無差別級の創設と、必要に応じた非侵襲的で機密性の高い簡易な性別検査の導入を求めている。これにより、女性アスリートに対する公平性、安全性、尊厳を保障しながら、あらゆる人々のスポーツへの参加を確保することが可能になる。